

インドでの水質改善事業報告

2022年12月 株式会社 HALVO ホールディングス

【事業概要】

インド・ニューデリーにて衛生環境改善に取り組むセーブ・ザ・チルドレンとパートナーシップ契約を締結し、現地小学校の水質改善に取り組んでいます。10校に水処理機材を設置し、当グループの凝集剤で年間約225万リットルの安全な水の供給を目指します。また、タブレット型凝集剤 WATAB(ウォータブ)1個の販売につき、750リットルの水を支援していきます※1,2。

※1:ノベルティ版は1個につき125リットル。 ※2:750リットルは、一人が1年間に必要とする飲料水量に相当します。

■水源別の水資源利用可能性

水源		(A)	(B)	(C)
		水道水	地下水	排水
現在の用途	飲料水(検査済)	凝集剤使用 による可能性	凝集剤使用 による可能性	
	飲料水(未検査)	現在		
	生活用水		現在	凝集剤使用 による可能性
	排水	プロジェクト B		現在
				プロジェクト A

プロジェクト A:

インド全域で地下水の枯渇が深刻化しており、排水の再利用も重要な課題となっています。本プロジェクトでは、手洗いで利用した水を再度、手洗いやトイレの水として活用します。

プロジェクト B:

小学校に供給される水道水や地下水はそのまま飲用することはできず、RO 処理を行った上で飲用しています。殆どの小学校に RO 処理設備が設置されておりますが、ランニングコストが高く、故障により稼働不可となっている小学校も多く存在します。本プロジェクトでは、低コストで水道水や地下水を飲料水化する設備を設置します。

■本プロジェクトに関するスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
現地調査	■	■										
水質検査①		■										
学校選定		■	■									
機材製造				■	■	■						
機材確認						■	■					
水質検査②							■	■	■			
政府申請										■	■	
学校利用												■

本プロジェクトは、政府(NEERI)への申請・認可が必須で、申請に向けた水質検査等の事前準備が必須となります。機材を設置した学校で12月以降に定期的な水質検査を実施し、申請に向けた準備を行います。学校利用については、プロジェクト A から開始し、次年度以降でプロジェクト B に向けた活動を行っていく予定です。

■現地での活動写真



@Save the Children

現地小学生との交流



小学校での水質試験風景



処理後の水①



処理後の水②(左:処理水、右:原水)



現地小学校のトイレ環境



現地小学校の水道